

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 サカタインクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森田 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5823

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,062	11.8	6,508	44.8	7,472	39.2	4,764	53.1
25年3月期第3四半期	92,217	2.1	4,496	35.3	5,368	30.4	3,111	39.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,698百万円 (151.4%) 25年3月期第3四半期 3,460百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	78.74	—
25年3月期第3四半期	51.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	114,927	53,364	45.3
25年3月期	99,649	45,533	44.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 52,095百万円 25年3月期 44,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	12.9	7,900	36.4	8,700	27.8	5,400	△3.4	89.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) INX Digital International Co.  
 (注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	62,601,161 株	25年3月期	62,601,161 株
26年3月期3Q	2,091,894 株	25年3月期	2,089,888 株
26年3月期3Q	60,509,886 株	25年3月期3Q	60,513,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、当社および国内子会社が3月であるため、当第3四半期については、海外子会社（インドを除く）が2013年1～9月、国内連結会社およびインド子会社は2013年4～12月を対象として、記載しております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では金融緩和策縮小への動きがあり、欧州には景気の持ち直しの兆しがみられ、成長ペースが鈍化しているアジアも概ね堅調に推移するなど、全体として弱い回復が続きました。日本経済は、デフレ脱却に向けた経済対策や金融政策に対する期待感から円安・株高が進み、景気は緩やかに回復してきているものの、海外景気の下振れリスクや消費税率引き上げによる影響が懸念されるなど先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。また、印刷インキ全般の主要原材料価格が依然として高水準で推移していることから、グループ全体でコスト削減を推し進めました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。さらには、持続的成長を果たすために、国内の全社的な生産・物流体制の再構築および今後の機能性材料事業への対応を目的として、滋賀の新工場建設を進めました。

売上高は、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を大きく受けたことから、1,030億6千2百万円（前年同期比11.8%増加）となりました。

利益面では、印刷インキの拡販や徹底したコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響も受けたことなどから、営業利益は65億8百万円（前年同期比44.8%増加）、経常利益は74億7千2百万円（前年同期比39.2%増加）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損が減少したことから、47億6千4百万円（前年同期比53.1%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材(日本)	44,727	44,900	172	0.4%	0.4%	3,024	2,708	△316
印刷インキ(アジア)	13,803	18,304	4,500	32.6%	10.4%	624	1,728	1,104
印刷インキ(北米)	20,826	25,527	4,700	22.6%	0.4%	320	1,133	812
印刷インキ(欧州)	4,354	5,555	1,200	27.6%	4.4%	63	94	31
機能性材料	4,320	5,086	765	17.7%	7.4%	73	433	359
報告セグメント計	88,033	99,373	11,340	12.9%	2.5%	4,106	6,097	1,991
その他	9,154	9,068	△85	△0.9%	△0.9%	238	189	△48
調整額	△4,970	△5,379	△409	—	—	151	221	69
合計	92,217	103,062	10,844	11.8%	2.0%	4,496	6,508	2,012

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

**①印刷インキ・機材（日本）**

パッケージ関連では、飲料、食品関係の堅調な需要に支えられ、フレキシインキ、グラビアインキともに前年同期を上回りました。印刷情報関連では、需要の低迷の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を下回りました。機材につきましては、低調でありました。これらの結果、売上高は449億円（前年同期比0.4%増加）となりました。

利益面では、コスト削減に取り組んだものの、原材料高の影響を受けたことや機材販売が低調であったことなどから、営業利益は27億8百万円（前年同期比10.4%減少）となりました。

**②印刷インキ（アジア）**

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、需要拡大を背景として全般的に堅調に推移しました。また、印刷情報関連であるオフセットインキの拡販も進みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、183億4百万円（前年同期比32.6%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加やコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことから、営業利益は17億2千8百万円（前年同期比177.0%増加）となりました。

**③印刷インキ（北米）**

主力のパッケージ関連では、高機能インキを拡販し、北米や中南米などでの需要の高まりを背景として、フレキシインキ、グラビアインキおよびメタルインキがそれぞれ順調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、メディアの多様化による需要減の影響を受けて、低調でありました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、255億2千7百万円（前年同期比22.6%増加）となりました。

利益面では、生産効率化などによるコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は11億3千3百万円（前年同期比253.4%増加）となりました。

**④印刷インキ（欧州）**

欧州債務問題の長期化により、景気が低迷する中、主力であるパッケージ関連のフレキシインキ、グラビアインキは拡販が進み、全体としては堅調に推移しました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、55億5千5百万円（前年同期比27.6%増加）となりました。

利益面では、販売コストが増加したものの、販売数量の増加が寄与したことなどから、営業利益は9千4百万円（前年同期比49.3%増加）となりました。

**⑤機能性材料**

デジタル印刷分野では、インクジェットインキは欧米での販売が伸び悩んだものの、日本での販売は堅調に推移した結果、全体としては前年同期を上回りました。また、トナーも前年同期を上回りました。画像表示材料分野では、市場環境が厳しい中、カラーフィルター用顔料分散液は伸び悩みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、50億8千6百万円（前年同期比17.7%増加）となりました。

利益面では、売上高の増加が寄与したことに加え、のれんの償却額の負担がなくなったことなどから、営業利益は4億3千3百万円（前年同期比488.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、滋賀工場建設に伴う有形固定資産の増加、時価評価による投資有価証券の増加および売上債権の増加に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比152億7千8百万円(15.3%)増加の1,149億2千7百万円となりました。

負債は、設備投資に伴う未払金の増加や仕入債務の増加に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比74億4千7百万円(13.8%)増加の615億6千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比78億3千万円(17.2%)増加の533億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月8日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

INX Digital International Co.は、連結子会社であるINX International Ink Co.に吸収合併されたことにより消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,861	4,986
受取手形及び売掛金	38,197	42,074
商品及び製品	6,290	7,377
仕掛品	792	775
原材料及び貯蔵品	4,934	5,552
その他	1,583	2,855
貸倒引当金	△436	△500
流動資産合計	57,222	63,123
固定資産		
有形固定資産	22,894	28,649
無形固定資産		
のれん	96	83
その他	1,061	1,202
無形固定資産合計	1,158	1,286
投資その他の資産		
投資有価証券	16,750	20,184
その他	2,275	2,203
貸倒引当金	△651	△519
投資その他の資産合計	18,373	21,868
固定資産合計	42,427	51,804
資産合計	99,649	114,927
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,294	25,312
短期借入金	5,788	5,887
1年内返済予定の長期借入金	5,017	4,050
未払費用	2,932	3,149
未払法人税等	1,048	386
賞与引当金	1,068	573
その他	2,443	7,568
流動負債合計	40,592	46,928
固定負債		
長期借入金	7,835	7,931
退職給付引当金	2,876	2,950
資産除去債務	71	72
その他	2,740	3,680
固定負債合計	13,522	14,635
負債合計	54,115	61,563

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	38,084	42,021
自己株式	△640	△641
株主資本合計	50,589	54,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,891	3,111
繰延ヘッジ損益	△2	6
為替換算調整勘定	△7,969	△5,545
その他の包括利益累計額合計	△6,079	△2,428
少数株主持分	1,024	1,268
純資産合計	45,533	53,364
負債純資産合計	99,649	114,927



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	92,217	103,062
売上原価	71,524	78,580
売上総利益	20,693	24,482
販売費及び一般管理費	16,197	17,973
営業利益	4,496	6,508
営業外収益		
受取利息	47	45
受取配当金	258	260
持分法による投資利益	679	739
その他	344	313
営業外収益合計	1,330	1,358
営業外費用		
支払利息	325	246
その他	132	147
営業外費用合計	457	394
経常利益	5,368	7,472
特別利益		
投資有価証券売却益	6	6
特別利益合計	6	6
特別損失		
投資有価証券評価損	353	0
有形固定資産除却損	31	—
特別損失合計	385	0
税金等調整前四半期純利益	4,990	7,479
法人税、住民税及び事業税	1,450	2,019
法人税等調整額	313	415
法人税等合計	1,764	2,435
少数株主損益調整前四半期純利益	3,226	5,043
少数株主利益	114	278
四半期純利益	3,111	4,764

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,226	5,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	1,228
為替換算調整勘定	△64	1,567
持分法適用会社に対する持分相当額	85	853
繰延ヘッジ損益	—	4
その他の包括利益合計	233	3,654
四半期包括利益	3,460	8,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,369	8,416
少数株主に係る四半期包括利益	90	282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	44,697	13,736	19,472	4,293	4,248	86,449	5,768	92,217	—	92,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	67	1,354	61	72	1,584	3,385	4,970	△4,970	—
計	44,727	13,803	20,826	4,354	4,320	88,033	9,154	97,188	△4,970	92,217
セグメント利益	3,024	624	320	63	73	4,106	238	4,345	151	4,496

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額151百万円には、セグメント間取引消去289百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	44,874	18,241	23,960	5,503	4,996	97,575	5,486	103,062	—	103,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	63	1,566	51	90	1,797	3,581	5,379	△5,379	—
計	44,900	18,304	25,527	5,555	5,086	99,373	9,068	108,442	△5,379	103,062
セグメント利益	2,708	1,728	1,133	94	433	6,097	189	6,287	221	6,508

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額221百万円には、セグメント間取引消去353百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。